

令和4年度 北広島市政策評価報告書

令和5年2月

北広島市企画財政部企画課

令和4年度 政策評価の実施について

令和4年度の政策評価(施策評価及び事務事業評価)は、「2022推進計画」(令和4年度)に掲載されている384事業の事務事業のうち、246事業の令和3年度の実施状況について評価を行いました。

評価対象については、主に次に掲げる事業を対象外とし、今後の推進計画等への反映に重点を置き、選定しました。

- (1) 法令等で義務付けられている業務であって市の裁量が小さいもの
- (2) 令和3年度に終了した事業及び令和4年度に終了する事業
- (3) 数年度のうちに終了が見込まれている事業
- (4) その他評価の必要性が低いと考えられる事業

1 評価結果の一覧

令和3年度の実施状況を踏まえ、各事業の今後の方向性について、評価しました。

評価対象	拡大	現状継続	要検討	見直し	休止終了
246	0	219	14	10	3

2 事業の進捗状況について

本市では、第6次総合計画において「希望都市」「交流都市」「成長都市」を「めざす都市像」と定めています。この都市像の実現に向けて、6つの基本目標、「ともに歩み笑顔が輝くまち」「学び合い心を育むまち」「だれもが安全に暮らせるまち」「住みよい環境にかこまれたまち」「活力みなぎる産業と交流のまち」「つながり成長するまち」を掲げ、これらの基本目標の達成に向け、34政策、110施策からなる事業を行っています。

今年度は、246事業について評価を行った結果、219事業が現状継続となっており、現時点では、全体的に各事業は推進計画に基づき適切に行われていると考えられます。

3 評価方法等について

評価調書については以下の2種類です。

(1) 事務事業評価調書

全ての評価対象事業について作成。1次評価については事業所管課による自己評価、2次評価については企画財政部による評価になります。

(2) 補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

団体への補助金・交付金事業について、補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書を作成

また、評価区分については下記のとおりです。

(1) 「現状継続」

事業の手法や方向性が現行のまま、原則として事業費の増減がない事業。軽微な事業費の増減及び対象人数の増等の社会的要因による事業費の増減がある場合も「現状継続」とします。

(2) 「要検討」

政策判断により事業効果をさらに高めるために事業内容等を検討するもの事業。

ただし、複数年にわたる事業で、当初計画通り事業を実施することにより、年度によって事業費が増加する場合や法改正等により事業費を増額する等の政策判断の伴わない場合は、「現状継続」となります。

(3) 「見直し」

政策判断により事業の廃止や縮小を見据えて事業内容等を見直す事業。事業実施内容の変更により事業費の削減を図る場合や民間に業務を委託することにより、事業の効率化を図るもの等が該当します。

(4) 「休止・終了」

事業の効果や必要性を検証するために一旦休止する事業、または事業目的の達成や定められた一定の時期において事業終了が見込まれる事業

4 評価結果について

「事業をより効率化し、かつ、効果的にするためには」という視点により、評価を実施しました。評価結果のうち特徴的なものについては、下記のとおりです。

事業効果をさらに高めるために事業内容等を検討するべく「要検討」とした事業

- (1) シティセールス推進事業
- (2) 広報紙発行事業
- (3) ボールパーク構想推進事業
- (4) DX 推進事業
- (5) 広聴活動事業
- (6) エルフィンパーク活用事業
- (7) 温暖化対策推進事業
- (8) 住み替え支援事業
- (9) 市民参加推進事業
- (10) 市民協働推進事業
- (11) 福祉人材確保対策事業
- (12) 企業人財づくり支援事業
- (13) 青少年安全対策事業
- (14) きたひろしま30kmロードレース連携事業

事業の廃止や縮小を見据えて事業内容等を見直すべく「見直し」とした事業

- (1) 子ども夢チャレンジ応援事業
- (2) 市民法律相談事業
- (3) 札幌市里塚斎場火葬場利用サービス事業
- (4) 飲料水等供給施設設置支援事業
- (5) 粗大ごみリユース事業
- (6) リユース住宅活用サポート事業
- (7) 空き家流動化促進事業
- (8) 住宅リフォーム支援事業
- (9) サイクルツーリズム推進事業
- (10) グリーンツーリズム推進事業

当初の事業目的を達成した等により「終了」とした事業

- (1) 特定不妊治療助成事業
- (2) 緑の活動拠点運営事業
- (3) 学校評議員等運営支援事業